



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月11日

上場会社名 株式会社トヨーアサノ
コード番号 5271

上場取引所 東・名

URL <https://www.toyoasano.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長

（氏名） 植松 泰右

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長

（氏名） 杉山 敏彦

（TEL）055-967-3535

半期報告書提出予定日 2024年10月11日

配当支払開始予定日

2024年11月1日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	6,980	△5.8	309	△45.5	323	△42.5	180	△46.6
2024年2月期中間期	7,412	△25.4	567	68.0	562	70.5	338	55.0

（注）包括利益 2025年2月期中間期 184百万円（△44.6%） 2024年2月期中間期 333百万円（50.9%）

	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益	
	円	銭	円	銭
2025年2月期中間期	139	40	—	—
2024年2月期中間期	261	18	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	15,042	27.0	4,063	27.0	—	—
2024年2月期	15,018	26.2	3,930	26.2	—	—

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 4,063百万円 2024年2月期 3,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2025年2月期（予想）	—	35.00	—	40.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	16,500	9.5	610	△33.9	560	△38.6	340	△43.7	262	43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期中間期	1,440,840株	2024年2月期	1,440,840株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	145,294株	2024年2月期	145,234株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年2月期中間期	1,295,555株	2024年2月期中間期	1,295,606株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費や企業の設備投資といった内需が主導する形で緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、2024年問題、人手不足、原材料高騰などの影響を受けて、建設市場には非常に強い供給制約がかかり、量的な環境は極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、これまで推進してまいりました第7次中期経営計画「TAFCO・RR計画」におけるReform戦略(利益回復に向けた取り組み)を継続しておりましたが、特に第2四半期の稼働率が大きく減少したことで利益率が押し下げられる厳しい事業環境となりました。

また、不動産賃貸事業につきましては、安定した業績で推移しております。

セグメント毎の業績は次のとおりであります。

①基礎事業

基礎事業の主力事業でありますコンクリートパイル部門の全国需要につきましては、前年同期を下回って推移いたしました。当社の主力商圏であります関東につきましても、前年同期を大きく下回りました。業績につきましては、期首計画において第2四半期における着工を見込んでいた物件で多く後ずれが生じたことなどにより、当中間連結会計期間の売上高は6,878百万円(前中間連結会計期間比5.8%減)、営業利益は543百万円(前中間連結会計期間比31.4%減)となりました。

②不動産賃貸事業

当中間連結会計期間の売上高は、101百万円(前中間連結会計期間比4.8%減)、営業利益は62百万円(前中間連結会計期間比7.7%減)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は6,980百万円(前中間連結会計期間比5.8%減)、営業利益は309百万円(前中間連結会計期間比45.5%減)、経常利益は323百万円(前中間連結会計期間比42.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は180百万円(前中間連結会計期間比46.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、24百万円増加して15,042百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加409百万円、建物及び構築物の増加234百万円、電子記録債権の減少379百万円、未成工事支出金の減少163百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、108百万円減少して10,979百万円となりました。これは長期借入金の増加398百万円、支払手形及び買掛金の減少288百万円、電子記録債務の減少91百万円、未払法人税等の減少154百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて132百万円増加して4,063百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、409百万円増加して1,648百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、397百万円の増加(前中間連結会計期間は53百万円の減少)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益323百万円、減価償却費211百万円、売上債権の減少額503百万円、棚卸資産の減少額166百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額380百万円、法人税等の支払額296百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、310百万円の減少(前中間連結会計期間は137百万円の増加)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出164百万円、その他の支出153百万円(主に無形固定資産の取得による支出144百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、323百万円の増加(前中間連結会計期間は131百万円の減少)となりました。

これは、主に長期借入れによる収入1,437百万円、長期借入金の返済による支出985百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期業績予想につきましては、2024年10月4日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,238,452	1,648,257
受取手形、売掛金及び契約資産	2,098,217	1,973,701
電子記録債権	1,058,474	679,263
原材料及び貯蔵品	262,489	259,494
未成工事支出金	1,819,731	1,656,565
その他	73,343	143,144
流動資産合計	6,550,708	6,360,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,512,695	1,747,169
土地	4,800,853	4,800,853
その他(純額)	958,015	823,239
有形固定資産合計	7,271,564	7,371,262
無形固定資産		
	317,569	439,829
投資その他の資産		
投資有価証券	333,525	339,554
退職給付に係る資産	9,075	-
その他	536,242	531,664
貸倒引当金	△300	△300
投資その他の資産合計	878,543	870,918
固定資産合計	8,467,677	8,682,010
資産合計	15,018,385	15,042,437
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,804,589	1,515,691
電子記録債務	2,603,396	2,512,246
短期借入金	1,723,237	1,775,981
未払法人税等	299,686	145,657
工事損失引当金	-	4,964
その他	573,734	508,538
流動負債合計	7,004,644	6,463,078
固定負債		
長期借入金	3,861,058	4,259,738
退職給付に係る負債	-	6,386
その他	222,116	250,077
固定負債合計	4,083,174	4,516,202
負債合計	11,087,818	10,979,281

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,327,278	1,327,278
利益剰余金	2,598,294	2,727,067
自己株式	△106,833	△106,961
株主資本合計	3,918,739	4,047,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,827	15,770
その他の包括利益累計額合計	11,827	15,770
純資産合計	3,930,567	4,063,155
負債純資産合計	15,018,385	15,042,437

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	7,412,169	6,980,296
売上原価	5,959,862	5,727,025
売上総利益	1,452,306	1,253,271
販売費及び一般管理費	884,538	943,595
営業利益	567,768	309,675
営業外収益		
受取利息	824	648
受取配当金	7,212	8,957
受取補償金	-	19,550
その他	11,983	9,833
営業外収益合計	20,020	38,989
営業外費用		
支払利息	25,362	24,929
その他	337	346
営業外費用合計	25,700	25,276
経常利益	562,088	323,388
特別利益		
固定資産売却益	4,121	16
特別利益合計	4,121	16
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益	566,210	323,404
法人税、住民税及び事業税	227,825	142,807
法人税等合計	227,825	142,807
中間純利益	338,385	180,597
親会社株主に帰属する中間純利益	338,385	180,597

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	338,385	180,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,159	3,943
その他の包括利益合計	△5,159	3,943
中間包括利益	333,225	184,540
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	333,225	184,540

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	566,210	323,404
減価償却費	212,780	211,139
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△39,263	15,462
工事損失引当金の増減額(△は減少)	-	4,964
受取利息及び受取配当金	△8,036	△9,606
支払利息	25,362	24,929
固定資産除却損	0	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△4,121	△16
預り保証金の増減額(△は減少)	△116,104	-
売上債権の増減額(△は増加)	△15,235	503,727
棚卸資産の増減額(△は増加)	△549,102	166,160
仕入債務の増減額(△は減少)	33,396	△380,048
未払消費税等の増減額(△は減少)	△34,715	△17,801
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,456	5,373
その他	△70,218	△148,513
小計	△505	699,174
利息及び配当金の受取額	8,036	9,606
利息の支払額	△25,355	△25,346
法人税等の支払額	△52,443	△296,486
法人税等の還付額	16,415	10,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	△53,852	397,398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△174,354	△164,536
有形固定資産の売却による収入	4,121	176
関係会社株式の売却による収入	372,600	-
その他の収入	9,424	6,743
その他の支出	△74,094	△153,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	137,696	△310,771
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△442,000	-
リース債務の返済による支出	△71,199	△76,517
長期借入れによる収入	1,430,000	1,437,000
長期借入金の返済による支出	△1,015,508	△985,576
自己株式の取得による支出	-	△127
配当金の支払額	△32,568	△51,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131,275	323,178
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△47,431	409,805
現金及び現金同等物の期首残高	1,523,031	1,238,452
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,475,599	1,648,257

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高					
(1)外部顧客 への売上 高	7,305,371	106,797	7,412,169	—	7,412,169
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	2,263	2,263	△2,263	—
計	7,305,371	109,060	7,414,432	△2,263	7,412,169
セグメント 利益	791,668	67,660	859,328	△291,560	567,768

(注) 1 セグメント利益の調整額△291,560千円には、セグメント間取引消去3,984千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△295,544千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験研究費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間から「コンクリートセグメント事業」を構成していた日本セグメント工業株式会社について、当社の保有する全株式を2023年2月28日付で譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、報告セグメントから「コンクリートセグメント事業」を除外しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	基礎事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高					
(1)外部顧客 への売上 高	6,878,617	101,679	6,980,296	—	6,980,296
(2)セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	2,263	2,263	△2,263	—
計	6,878,617	103,942	6,982,559	△2,263	6,980,296
セグメント 利益	543,247	62,439	605,687	△296,011	309,675

(注) 1 セグメント利益の調整額△296,011千円には、セグメント間取引消去3,984千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△299,995千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の調整後の金額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。